

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 11月 2日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100850		
法人名	有限会社サカコーポレーション		
事業所名	グループホーム ガーデンの家 落合南		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南9丁目5-20 (電話) (082) -843-4165		
自己評価作成日	令和3年9月3日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100850-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年10月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域とのつながりを大切にしています。ご本人のできる事・したい事を継続できるよう『役割作り』に取り組んでいます。入居者様同士もお互いできないところを助け合いながら生活しています。個別の関わりに力を入れ、入居者様が安全に安心して生活できるように『入院予防』の観点から様々な取り組みをチーム内で検討し取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

同法人の地域密着型サービスと連携し合同で、認知症プロジェクトの始動に向け体制を整えている。このプロジェクトの実施により、適切な認知症ケアを提供し症状の発生を予防したり、進行を緩慢にする事を目指して取り組んでいく。前年度に自ら上げた課題「職員間でタイムリーな情報共有を行う」に対して改善に取り組み、今年度は新たに「夕礼」を創設した。夕礼は情報共有の強化になっただけでなく、職員のアイディアから、職員同士の良かった部分を褒める場となり、プラスの雰囲気作りに繋がり、締め掛け声をかけることで、疲れや緩んだ雰囲気を持ち越さず、次の仕事への意欲に転換している。災害対策についても、職員が総合防災センター主催の消防訓練実務研修に参加し、地域と助け合う関係作りを行い、施設自体が地域住民の社会資源として活用してもらえるように日々取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	朝礼時に理念の唱和を行い、施設内研修等でも理念の唱和を行い共有できている。	職員は、半年毎にリーダーと個別面談を行い、個人の目標設定と評価、振り返りを実施している。面談時に理念を正しく理解し実施できるよう、法人で作成したハンドブックを基に、リーダーが職員に指導や助言を行っている。また、地域密着型サービスの運営理念を掲げ、施設が地域の社会資源となるように全職員で取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルス感染拡大から地域行事が行えなくなっている。その中でも、フジの移動スーパーが毎週水曜日に来て、施設の利用者・職員・地域の方が購入されている。その際に、少しではあるが話をしたりしている。	1階の地域交流室を開放し、いきいき100歳体操を開催していたが、コロナウイルスの影響により現在は行っていない。定期的にスーパーの移動販売が施設の前で行われ、利用者と地域住民の交流の場となっている。近隣への散歩やごみ捨てに出た際は、挨拶や話をする等の交流を続けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナウイルス感染拡大防止から地域に向けての取り組みが行えていない。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、老人会の会長、民生委員、地域包括、家族、地域連携委員(施設内の職員)に参加して頂き、取組みの説明を行い、助言等を頂いている。	コロナウイルス感染拡大の影響により開催できない月もあったが、意見を聴取する為に家族にアンケートを実施した。屋外の非常階段について、夜間高齢者の視力では緊急避難の際に見えないのではないか、との意見から人感センサーライトを取り付けた例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	制度上の不明点の確認等は積極的に行い、地域包括の職員とも協力関係を築いている。	法改正に伴い新しく創設された加算について、市の介護保険課へ不明な部分の確認を電話で行った。特に地域包括支援センターとの繋がりは強く、日頃から体操やサロン再開時期の相談や依頼がある。利用者が将来的にも安心して過ごせるよう身元引受人の件でも相談を続けている。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	この1年間で身体拘束発生事例はない。毎月身体拘束廃止推進委員会を開催し未然の防止を図っている。 防犯上の管理から玄関は電子ロックをかけているが、入居者様の思いにはしっかりとお答えし、職員付添いのもと一緒に外に出ている。	身体拘束防止マニュアルとガイドラインが整備され、全職員がいつでも手に取り確認できる場所に保管している。 スピーチロックについて、具体的にどんな言葉が該当するか全職員で話し合い、更に身体拘束廃止推進委員会で検討しルールを作成した後に、全職員に周知して取り組みを開始している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待に関する委員会の指針等の整備を会社が行っている。研修に関しては年2回開催し職員の意識を高めている。また、認知症の理解を深める為に、認知症に関するプロジェクトチームを立ち上げ活動していく計画をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で学ぶ機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、管理者と計画作成担当が行い、極力2人で対応をし理解して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話連絡時に意見を伺い、フロア内で話し合いを行い運営に反映できるように心がけている。	この1年間は、家族の面会や運営推進会議の中止等制限が多い中で、家族から荷物の受け渡し時や、電話で状況報告をする際に、家族の要望を聞き取り、オンライン面会を導入した。円滑に面会が行えるように、希望があれば職員が操作に必要な情報を提供し家族への支援も行った。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや個人面談等を活用し職員の意見を、運営に反映できるように努めている。又会社が資格取得に力を入れており、バックアップ体制も行っている。	昨年の課題から、タイムリーな情報共有の場作りとして、職員の意見から夕礼を新たに業務に取り入れた。また、働きやすい職場づくりに取り組んでおり、職員とリーダー間で何でも話せる関係の構築に務めている。職員が、子供の体調不良時の休みや有給休暇を取りやすいように配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の取組みや実績などを報告する場を設けている。代表者も事業所を見て回り職員に声掛けを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりが望む外部研修に行かれるように配慮している。又、内部の研修会に参加し、知識や技術の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安佐北区のケアマネ会に計画作成が参加し勉強や他ケアマネとの交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時より入居者様にしっかり生活歴や要望を聞き、入居者様と職員との信頼関係を作っている。又、他の方ともつながりが持てるように間に入り関わるを持たせてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>各入居者様に担当を作り、担当が中心となって家族の不安に答えるようにしている。面会時にも積極的に関わりを持ち関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の小さな訴えや要望にもしっかりと耳を傾け必要なサービスを計画作成担当が検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中での生活を意識し、洗濯、調理、掃除などの家事を一緒に行ったりしている。入居者様同士の助けいながら生活を送っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と情報共有を行い、面会などを通じて一緒に入居者様を支援していく関係作りをおこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や家族様に話を伺いながら、関係が途切れないようにはできている</p>	<p>利用者が勤めていた職場で出会った方々と、現在も年賀状のやり取りが続いている。年賀状が自身で書けない方は、電話でお礼を伝えられるように職員が支援を行っている。この1年間は、主に面会はオンラインで実施しているが、広島県の感染状況の指標と警戒基準別に面会の制限を設けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや一人ひとりの趣味を通じてお互いが支え合う関係を作っている。日ごろから職員が間に入り、コミュニケーションが取れる支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後もケアマネにその後の状況の確認や同事業所に入居されている方には実際に顔を見に行ったりとしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向は、日ごろから伺い実施できるように検討している。職員の都合になっているところがあるので、その都度本人主体になるように努めている。	日頃から、利用者が落ち着いて過ごせるように、職員が業務を行う場合でも忙しい様子を見せないように配慮を行い、利用者が職員に声をかけやすいように工夫している。実際に利用者の要望から嗜好品の購入や使いやすいトイレの選定について検討、導入し、利用者の生活の質の向上に繋がっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人ひとりのメモリアルブックの作成に取組みを考えており、本人様、家族様から聞き取った生活歴を一冊の本にまとめ、ケアに取り組みでいこうとしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの表情、行動、言動の小さな変化にも気が付くように努めている。記録や申し送りを職員間で共有できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当や担当を中心にその都度話し合いを行っている。</p>	<p>毎日実施したサービス内容をモニタリングシートで確認し、記録している。月末にケアマネジャーが確認後、職員に聞き取りを行いモニタリングの実施項目や計画の見直し、変更を行っている。施設内で行う下膳や掃除、洗濯物たたみ等を利用者の役割として介護計画に反映させている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録を大切にし、小さな変化や気づきを共有するように努めているが、物事が起きてからの話し合いになっていることがある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度の状況に応じて、入居者様、家族様、職員で話し合い、対応を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>諸木の公民館は活用できているが、まだまだ社会資源を有効に活用できていない。散歩や体操教室に参加し近隣の方や地域を知るように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者様、家族様の希望のかかりつけ医を受診してもらっている。受診の際には情報提供を行い必要であれば付き添いを行っている。</p>	<p>利用者は、今までのかかりつけ医に家族の付き添いで受診している。家族が希望した場合は、訪問診療を実施している病院の紹介を行っている。受診時の情報提供は、直近1か月間の様子について、担当職員が文書を作成し、ケアマネジャーが内容を確認してFAXするか、家族から医師に渡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医との連携を取ながら、看護師がパイプ役となり、現場の情報を医師に伝えたり、医師の話を現場に伝えたりしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族様と情報交換を行い、状態把握や、退院時に必要な体制等の確認を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合は、医師や家族様とも話し合いを行っている。看取りの事例はなし。	これまでに、看取りを前提とした利用の受け入れは実施しておらず、看取りの実例もない。利用開始時に重度化した場合における指針について利用者、家族に説明を行っている。重度化した場合は、主治医から家族に病状の説明が行われてから、施設と利用者、家族で今後の方針を検討していく方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修やマニュアルの整備を行い、緊急時の対応をまとめたファイルも作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練(日中・夜間)の実施と消防に関する外部研修に参加し一人一人のスキルアップに繋げている。	地域の実情としては、地震と火災が想定される。年に2回の消防訓練は、両日共消防署職員と一緒に実施している。また、避難訓練の日程は、施設1階でいきいき100歳体操が開催された後に設定する等、地域の方が参加しやすいように工夫を行っている。食品は冷凍で1週間程度の備蓄がある。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるという敬意を持って、接している。法人としても研修を通じて教育を図っている。	法人で全施設の、全職員を対象としたプライバシーに関する研修を毎年開催している。利用者のプライバシーを損ねる様な場面に遭遇した際に、職員同士で互いに注意しあえる職場の環境作りに現在取り組んでいる。状況に応じ、リーダーが個別に指導や助言を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人主体になるように心がけており、選択する機会が持てるよう、意識を持って取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や希望を伺いながらその日その日で支援を行っているが、業務の都合で入居者のペースになっていない時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装も本人様と一緒に選んだり、お化粧品をおこなったりと身だしなみにも注意を払っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備や片づけでなく、好みやリクエストについては皆で一緒に作る機会を設けている。	炊飯とみそ汁は、各ユニットの介護職員が調理する。おかずは、調理、冷凍された物が業者から届き、施設で温め、盛り付けを行っている。感染症予防の観点から、現在は利用者と一緒に調理する機会は減少したが、利用者の要望に応え、うどんやそばを提供し楽しみとなるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事水分摂取表を毎日記録し、前日に少なかった方を、朝の送りで伝え意識して取り組んでいる。飲み物等の好みも伺いながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食事前の口腔体操を行い、食後の口腔ケアの声掛けや確認、介助を行っている。定期的な歯科受診を勧めたり、訪問歯科にも来ていただき歯の清潔に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を確認し、本人様の排泄パターンを知るところから始まり、トイレでできるように声掛けを行っている。</p>	<p>退院と同時に利用開始した利用者が、おむつを使用していたが、入居後の利用者の様子を観察し排泄の方法について見直しを行いリハビリパンツに移行した実例がある。日中は共用トイレを使用し、夜間はベッド脇にポータブルトイレを設置し一人で排泄ができるように支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に気をつけ、体操や散歩などで身体を動かしている。薬についてもかかりつけ医と相談し、無理のないよう調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間は決めているが、入居者様の体調や希望に合わせて対応している。入浴剤や壁画貼り嗅覚や視覚も楽しめるようにしている。</p>	<p>施設で用意した複数の入浴剤の中から、好きな香りの物を利用者が選ぶことができる。浴室用の壁画は、富士山、宮島の鳥居、向日葵などの種類があり、貼り付けることで銭湯の様な雰囲気を感じられ、職員との会話にも広がりができる。冬至には、差し入れの柚子で、柚子湯も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	消灯時間はもうけておらず、状況に 応じて休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている。	薬情報の差し替えを行ったり、薬のセ ットや配薬や内服の確認をダブル チェックで行っている。臨時薬や 薬の変更時には記録に残し、症状 の変化に気を付けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ぎせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。	小さなことでも役割として行っ ている。趣味をいかしての交流を 行っているが、全員行えているか という点では行えていない。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	コロナの関係で、外出支援が以 前のようには出来ていないが、 移動販売が施設に来ているので 買いに出たりしている。また散 歩やゴミ捨てなどの時、一緒に行 っている。	コロナウイルスの感染拡大によ り、外泊や外出等の自粛が続いて いる。その中でも、近隣の散歩や 、収集場所へのゴミ出し、敷地 内の植込みの雑草取り等、可能 な範囲で個々の能力に応じて外 気浴を行えるように支援してい る。定期通院は家族の送迎、付 き添いの協力を得て実施してい る。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	少ない額ではあるが本人様の気 持ちにこたえず、現金を持って いる方もおられる。又、立替 という形で、本人様が好きな ものが買えるように支援を行っ ている。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様の要望に合わせて、その都度電話を掛けたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを、入居者様と一緒にやって行っている。生活感や清潔感が保てるように常に意識し配慮している。</p>	<p>職員が作業するキッチンと事務スペースの電球は白色であるが、居間・食堂は、利用者が寛げるように暖かみのある電球色に使い分けられている。秋の紅葉をモチーフに、利用者が作成した作品が壁に飾られ季節を感じる事ができるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルの席などを適宜見直し一人ひとりがくつろぎやすいように配慮している。利用者様同士が交流しやすいように職員が間に入り関わりを持たせてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅にある小物、タンス等を置き居室の配置もなるべく自宅に近づける様に工夫している。</p>	<p>居室には、自宅から持参した日本人形や筆筒、利用者が作成した貼り絵が飾られている。歩行が不安定な利用者の居室には、支えとなる物が途切れないように、利用者、家族、職員が相談して家具の配置を行い、足元灯を設置している。採光の好みに配慮し、遮光を行ったり、扉を一部解放している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>家事全般を一緒に行いながら、一人ひとりができる事を継続できるように、関わりを持たせてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(こぼれび) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	朝礼時に理念の唱和を行い、施設内研修等でも理念の唱和を行い共有できている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルス感染拡大から地域行事が行えなくなっている。その中でも、フジの移動スーパーが毎週水曜日に来て、施設の利用者・職員・地域の方が購入されている。その際に、少しではあるが話をしたりしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナウイルス感染拡大防止から地域に向けての取り組みが行えていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、老人会の会長、民生委員、地域包括、家族、地域連携委員（施設内の職員）に参加して頂き、取り組みの説明を行い、助言等を頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	制度上の不明点の確認等は積極的に行い、地域包括の職員とも協力関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	この1年間で身体拘束発生事例はない。毎月身体拘束廃止推進委員会を開催し未然の防止を図っている。 防犯上の管理から玄関は電子ロックをかけているが、入居者様の思いにはしっかりとお答えし、職員付添いのもと一緒に外に出ている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待に関する委員会の指針等の整備を会社が行っている。研修に関しては年2回開催し職員の意識を高めている。また、員致傷の理解を深める為に、認知症に関するプロジェクトチームを立ち上げ活動していく計画をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で学ぶ機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、管理者と計画作成担当が行い、極力2人で対応をし理解して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話連絡時に意見を伺い、フロア内で話し合いを行い運営に反映できるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングや個人面談等を活用し職員の意見を、運営に反映できるように努めている。又会社が資格取得に力を入れており、バックアップ体制も行っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の取組みや実績などを報告する場を設けている。代表者も事業所を見て回り職員に声掛けを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員一人ひとりが望む外部研修に行けるように配慮している。又、内部の研修会に参加し、知識や技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>安佐北区のケアマネ会に計画作成が参加し勉強や他ケアマネとの交流を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時より入居者様にしっかり生活歴や要望を聞き、入居者様と職員との信頼関係を作っている。又、他の方ともつながりが持てるように間に入り関わるを持たせてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>各入居者様に担当を作り、担当が中心となって家族の不安に答えるようにしている。面会時にも積極的に関わりを持ち関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の小さな訴えや要望にもしっかりと耳を傾け必要なサービスを計画作成担当が検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中での生活を意識し、洗濯、調理、掃除などの家事を一緒に行ったりしている。入居者様同士の助けいながら生活を送っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と情報共有を行い、面会などを通じて一緒に入居者様を支援していく関係作りをおこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や家族様に話を伺いながら、関係が途切れないようにはできている</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや一人ひとりの趣味を通じてお互いが支え合う関係を作っている。日ごろから職員が間に入り、コミュニケーションが取れる支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後もケアマネにその後の状況の確認や同事業所に入居されている方には実際に顔を見に行ったりとしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向は、日ごろから伺い実施できるように検討している。職員の都合になっているところがあるので、その都度本人主体になるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人ひとりのメモリアルブックの作成に取組みを考えており、本人様、家族様から聞き取った生活歴を一冊の本にまとめ、ケアに取り組んでいこうとしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの表情、行動、言動の小さな変化にも気が付くように努めている。記録や申し送りを職員間で共有できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当や担当を中心にその都度話し合いを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録を大切にし、小さな変化や気づきを共有するように努めているが、物事が起きてからの話し合いになっていることがある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度の状況に応じて、入居者様、家族様、職員で話し合い、対応を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>諸木の公民館は活用できているが、まだまだ社会資源を有効に活用できていない。散歩や体操教室に参加し近隣の方や地域を知るように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者様、家族様の希望のかかりつけ医を受診してもらっている。受診の際には情報提供を行い必要であれば付き添いを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医との連携を取ながら、看護師がパイプ役となり、現場の情報を医師に伝えたり、医師の話を現場に伝えたりしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族様と情報交換を行い、状態把握や、退院時に必要な体制等の確認を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合は、医師や家族様とも話し合いを行っている。 看取りの事例はなし。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修やマニュアルの整備を行い、緊急時の対応をまとめたファイルも作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練(日中・夜間)の実施と消防に関する外部研修に参加し一人一人のスキルアップに繋げている。		

自己評価	外部評価	項 目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるという敬意を持って、接している。法人としても研修を通じて教育を図っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人主体になるように心がけており、選択する機会が持てるよう、意識を持って取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や希望を伺いながらその日その日で支援を行っているが、業務の都合で入居者のペースになっていない時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装も本人様と一緒に選んだり、お化粧品をおこなったりと身だしなみにも注意を払っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備や片づけでなく、好みやリクエストについては皆で一緒に作る機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事水分摂取表を毎日記録し、前日に少なかった方を、朝の送りで伝え意識して取り組んでいる。飲み物等の好みも伺いながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食事前の口腔体操を行い、食後の口腔ケアの声掛けや確認、介助を行っている。定期的な歯科受診を勧めたり、訪問歯科にも来ていただき歯の清潔に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を確認し、本人様の排泄パターンを知るところか始まり、トイレでできるように声掛けを行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に気をつけ、体操や散歩などで身体を動かしている。薬についてもかかりつけ医と相談し、無理のないよう調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間は決めているが、入居者様の体調や希望に合わせて対応している。入浴剤や壁面貼り嗅覚や視覚も楽しめるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	消灯時間はもうけておらず、状 況に応じて休んでいただいてる。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	薬情報の差し替えを行ったり、 薬のセットや配薬や内服の確認 をダブルチェックで行っている。 臨時薬や薬の変更時には記録に 残し、症状の変化に気を付けて いる。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	小さなことでも役割として行っ ている。趣味をいかしての交流 を行っているが、全員行えてい るかという点では行えていない。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	コロナの関係で、外出支援が以 前のようには出来ていないが、 移動販売が施設に来ているので 買いに出たりしている。また 散歩やゴミ捨てなどの時、一 緒に行っている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	少ない額ではあるが本人様の気 持ちに応え、現金を持っている 方もおられる。又、立替という 形で、本人様が好きなものが 買えるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様の要望に合わせて、その都度電話を掛けたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを、入居者様と一緒にやって行っている。生活感や清潔感が保てるように常に意識し配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルの席などを適宜見直し一人ひとりがくつろぎやすいように配慮している。利用者様同士が交流しやすいように職員が間に入り関わりを持たせてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅にある小物、タンス等を置き居室の配置もなるべく自宅に近づけれ様に工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>家事全般を一緒に行いながら、一人ひとりができる事を継続できるように、関わりを持たせてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(ひだまり) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ガーデンの家 落合南

作成日 令和 3 年 12月 10 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	7	言葉使い等の虐待までは行かないが不適切なケアがある	不適切ケアへの取組み	ワークショップを実施 ・話し合い ・対応策の検討 ・実施	令和4年4月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。